

(様式4)
令和7年10月22日

令和7年度 第2回 大阪市立淀中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立淀中学校

校園長名 吉田 健太

日 時	令和7年10月21日 19:00~20:00	
場 所	大阪市立淀中学校 校長室	
出席者	委員など	高橋 和行（会長） 吉野 千絵子（委員） 白石 正憲（委員） 古谷 史恵（委員） 峰原 利範（委員） 鴻上 圭太（委員） 瓦谷 道（委員）
	校園	吉田 健太（校長） 吉中 いづみ（教頭）
	区役所	
議題	1. 全国学力・学習状況調査の結果 2. 学校評価アンケートの結果 3. 運営に関する計画 中間評価について 4. 学校運営についての意見交換	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	議題	<ul style="list-style-type: none">・まずは学校長より全国学力・学習状況調査の結果について説明があり、委員の方に資料を確認していただいた。全国平均と比べ、国・数共に10ポイント以上低い状態であることと、本校生徒の低学力層の状況についての理解を得た。・校区の小学校で特定の小学校の学力が低いという実態があるのか →出来島小は本校と同じく重点支援校ではあるが、どの小学校にも低学力層は一定数いるので、特にどこの小学校が低いというわけではない。・授業の様子はどのような状態か →授業中立ち歩いたり、授業と関係のないことをして教員に指導されたりする生徒は昨年度と比べ減少したが、授業内容についていけない子どもも授業中机に伏せて寝ている状況である。・外国籍の子どもたちの学習状況はどのようにになっているか →本校は日本語指導教員が2名配置されており、手厚く配慮されている。内容的に受けることが難しいと判断される授業に関しては、日本語教室で特別の過程で別授業を行っている。・3年生が学力的にしんどい状況なのか →数値的に見ればそうだが、2年生も学力ではしんどい状況であると思われる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートの結果について資料を見ていただき、気になる項目を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校として気になるところはどこか →「社会のルールや決まりを守っている」の項目で、肯定的意見が97%だが、これはそもそも正しいことの判断基準が低いことが原因としてあるのではないかと考えている。 ・生徒アンケートから、5～9の項目が大切で、友達や先生が困ったときに助けてくれるという項目については本音で答えており、8割の子どもが肯定的に答えている。この結果を見て、安心している。 ・学習が苦手な生徒が、習熟度別の授業が楽しいと思えていないという結果になっていることが残念。教育としては、少人数の授業が改善されてほしいと思う。 →少人数の授業ができる体制はあるが、低学力のクラスの学習が成立しないため、授業力のある教員でなければそのクラスを受け持つことができないといった状況である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・運営に関する計画の中間評価について資料を用いて説明し、現状の確認をした。 ・学校運営について意見交換をし、引き続き地域・家庭・学校が連携して協力していくという意見でまとまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成のため、教職員一丸となって具体的な取り組みを推し進めているところである。 ・教員の勤務時間について、遅くまで働いている教員へのフォローや働きかけはどうになっているのか。 →パソコンを持ち帰って仕事をしている教員もおり、どこまでが業務と認められるのかとなると難しいので、なかなか超過勤務時間の改善という課題はなくならないが、本校は大阪市平均と比べ、残業時間は少なくなっている。 ・ゴールが見えれば頑張る意欲もわいてくると思うので、子どもたちには早い段階で目標や楽しみを見つけてほしい。 ・移民問題をよくニュースで見かけるように、最近小学校の運動会を見て外国人の割合が増えているように感じた。文化の違いで学校行事にお暗示用に参加することができない子どもがいるのは気になつたが、子どものころから国際的な交流があることは文化の違いを認め合うことのできるきっかけになるのではないか。中学校では、外国籍の子どもたちとの交流はあるのか。 →学校にいる外国籍の子どもたちとはとても良い関係が築けている。ただ、学校行事への参加については文化の違いに

		<p>よる課題もたくさんある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校の授業を参観し、難しい教材の中子どもたちが一生懸命授業を受けていのように感じた。小学校の時に基礎学力や規範意識を鍛え、中学校に進学させる責任があるように感じた。このように中学校と小学校との連携が大切であるよう感じた。淀中ブロックはつながりが深いので、とても良いことだと感じている。 川北でも外国籍の住民が増えており、学校では日本語でも家庭においては母国語をしゃべるので、なかなか地域と繋がりづらいところもあるのではないか。家庭での学習や過ごし方が大事だと思う。教育はもちろん大切だと思うし子どもは純粋だと思うので、自分の孫はもちろん、地域の子どもたちと良い関わり方をしていきたい。そういった点で、教員の仕事は大変だしすごいことだと思っている。 <p>→この学校のいいところは子どもたちが子ども同士、仲間に優しくできることだと思う。いいところをこれからも継続してほしいし、どんどん良くなってほしいと思う。</p>
協議資料		<ul style="list-style-type: none"> ・第2回 学校協議会 資料 ・学校評価アンケート結果 ・令和7年度 運営に関する計画（中間評価）
備考		-----